

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 2 号 平成 18 年 1 月 1 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

月経困難症と低用量ピル

産婦人科部長 齋藤 満



産婦人科は一時常勤医不在でしたが、平成 17 年 4 月に私が常勤医として着任し、現在は毎日診療を行っております。しかし、医師 1 名ですので分娩と開腹手術はせず外来中心の診療で、月経困難症、子宮内膜症や更年期障害など生活の質・就労の質にかかわる女性特有の疾患に対して特に力を入れています。今回は月経困難症とその治療に使われる低用量ピル(経口避妊薬:OC)について述べてみます。

月経困難症は月経に伴って起こる病的症状で激しい月経痛(下腹痛と腰痛)を主とした症候群です。平成 16 年の『働く女性の健康に関する実態調査』報告では、約 30%の女性にひどい月経痛があり、月経痛がないのは 21.6%のみで女性にとって大きな問題であることが示されました。月経困難症には器質的な異常によるものと器質的異常がないもの(機能性月経困難症)があります。子宮内膜症や子宮筋腫などの器質的な異常はその疾患に対する治療が優先されます。

機能性月経困難症の主な原因は子宮内膜で産生されるプロスタグランジン(PG)と考えられており、抗 PG 作用のある非ステロイド性消炎鎮痛剤(NSAIDs)が用いられ、有効率は 80%といわれています。痛くなる前の早目の服用が肝要です。最近では OC を使用することも多くなりました。OC は子宮内膜の増殖を抑制し、その結果 PG 産生を抑える働きがあります。90%以上の有効率といわれています。また、OC により出血量も減り(貧血の改善)、月経周期が規則的になるので自分のスケジュールを立てやすいというメリットもあり、働く女性、active な女性にお勧めです。また、にきびや多毛の改善、卵巣がんや子宮体がんの減少といった意外な効用もあります。当科での OC 使用者の過半数は月経痛や過多月経のために使用しています。極めてまれに血栓症などの副作用はありますが、女性の QOL の向上のために上手に利用したい薬の一つです。

旭労災病院消化器科の紹介

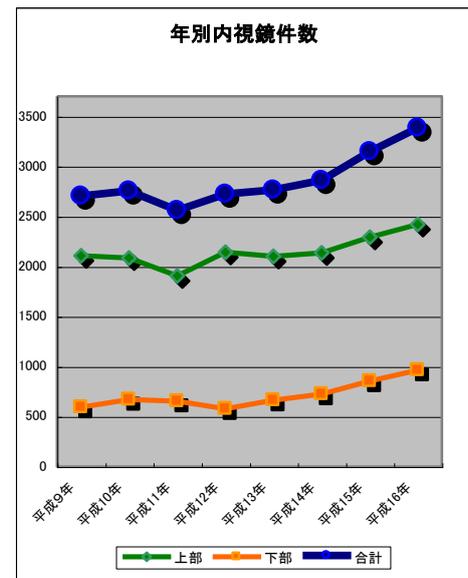


消化器科部長 猪飼 昌弘

消化器科は昭和 35 年内科、外科、放射線科の3科で開設された当院の総合病院化の先駆けとして昭和 56 年に増設されました。坂本眞先生が副部長、翌年消化器科部長としてその後平成 12 年まで 19 年間を務められ、その間、第二消化器科部長として林澄彦先生、松葉周三先生、内田淳夫先生が歴任されました。現在は消化器科部長：猪飼昌弘、第二消化器科部長：中村聡一、消化器科副部長：水島隆史・平田慶和、内科医師：海老正秀・塚本宏延を中心に診療を行っています。

当科で行う検査・治療件数は年々増加傾向にあり、特に内視鏡件数、経皮的胆道ドレナージの件数が増えています。内視鏡検査・治療の中では大腸内視鏡件数の増加が著しく、これは大腸疾患の増加に加え、平成 13、14 年から始まった尾張旭・瀬戸市住民検診での大腸がん検診の成果だと思われます。また先生方からのご紹介件数も毎年増え続け、今年度は月平均 67 件(昨年度比+5件)となっており、その賜物であると常に感謝いたしております。

当科の主な治療			
平成 17 年 (11 月 まで)			
内視鏡的治療	件	ESD	8
止血術	37	大腸	217
胃食道静脈瘤硬化療法	22	アルゴンプラスマレーザー焼灼術	18
胃食道静脈瘤結紮術	10	胆管ドレナージ	22
異物除去	10	総胆管結石採石	31
胃瘻増設術	60	経皮的治療	
拡張術	2	胆道ドレナージ	28
粘膜切除術	234	膿瘍ドレナージ	2
食道	1	エタノール注入療法	10
胃	16	ラジオ波焼灼術	15



当科では治療の選択性を拡げるために機器の充実も随時行なっています。最近では新型の高周波発生装置、拡大内視鏡装置を導入して新しい粘膜切除法(ESD:切開剥離法)を精力的に行っています。また、アルゴンプラスマ凝固装置を購入し、腫瘍焼灼や消化管出血の止血を行っています。そしていままではレンタルで使用していたラジオ波焼灼装置を

購入することにより、肝腫瘍の治療を随時行えるようになりました。

当科は緊急検査・治療体制の充実も目指しており、全内視鏡件数の 11.5%にあたる 381 件を緊急で施行しています。休日緊急内視鏡検査・治療も年間休日日数 109 日中 48 日に行っています。(数字は H17 11 月現在)検査に際しては患者サービスの観点から、可能な限りの即日施行を考えています。先生方のご紹介の際には、緊急例は勿論、そうでない場合も患者様に絶飲食等のご指示をいただければ、ご紹介当日に上部消化管内視鏡検査、腹部超音波検査等が行えるよう努めさせていただきます。

消化器科医師はじめスタッフ一同、地域医療の一翼を担えるようがんばりたいと思っております。今後もご支援、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。